



平昌オリンピックで輝け！ 小平奈緒選手 激励金贈呈式

1月5日、平昌オリンピック・パラリンピック茅野市出場選手後援会は、茅野市役所にて平昌オリンピックに出場する小平奈緒選手への激励金贈呈式を行いました。12月26日に発足した後援会の会長柳平市長から小平選手の父小平安彦さんに、小平選手の活躍を願い激励金を渡しました。

贈呈式の中で安彦さんは「奈緒をわが子のように育ててくれた茅野市スケート協会と豊平小学校スケートクラブに感謝しています。そこでスケートが好きになったから今の舞台に立てていると思います。」と語りました。

この「広報ちの」が発行されているときには小平選手が出場する種目は終了しています。どのような結果となったでしょうか。



↑五輪代表選考会(500m)で滑走する小平奈緒選手。

↓市役所前通りを分列行進する玉川分団。



市民の安全を守る決意 茅野市消防出初式

1月7日、市役所前通りと茅野市民館で茅野市消防出初式を行いました。まず市役所前通りから茅野市民館までの間を、消防団員と消防車両が分列行進しました。その後、茅野市民館で表彰式を行い、消防活動に功績のあった24団体と個人310人を表彰しました。

↓小泉山山頂でご来光に合わせて万歳をする参加者。



2018年の幕開け 小泉山元旦登山

1月1日、小泉山体験の森創造委員会は、毎年恒例の小泉山元旦登山を開催しました。前日雪が降ったこともあり、寒さが身にしみる中、参加者は夜明け前から登山を始め、山頂でご来光を待ちました。今年も昨年に続き天候に恵まれ、富士山も眺めることができました。そして初日の出が昇ると、参加者は拝礼と万歳をし、2018年の幕開けをみんなで迎えました。



↑ 羽子板で勝った台湾の生徒が、負けた永明中学校生徒の手にメッセージを書きました。



↑ クレープ作りをする生徒たち。このほかに団子作りもしました。

各校と異文化交流

台湾高雄市中学との姉妹校交流

1月19日、姉妹校提携を結んでいる、台湾高雄市の中学と市内4中学校の交流が行われました。このうち、永明中学校では、姉妹校国昌国民中学の生徒や先生を迎え交流が行われました。歓迎会では、両校が記念品の交換や学校紹介等を行い、互いの理解を深めました。その後、日本の文化を体験してもらおうと、各受け入れ教室に分かれ、書道や料理作り、日本の伝統的な遊び等を一緒に楽しみました。日本の生徒たちはジェスチャーと慣れない英語を一生懸命使いながら台湾の生徒たちとコミュニケーションをとっていました。



↑ 坊主めくりに挑戦する台湾の生徒

↓ 入場者200万人達成を記念したくす玉を割る参加者。



オープンから30年

茅野市運動公園国際スケートセンター 入場者200万人達成

1月8日、茅野市運動公園国際スケートセンターは入場者数が200万人を突破しました。国際スケートセンターは平成元年12月にオープンし、平成10年には100万人を達成しています。

この日は達成記念セレモニーを行い、200万人目となった豊平の宮下悠真くんとその前後に入場したお父さんとお母さんに記念品を贈りました。

↓ ノーベル平和賞授賞式の様子を写した写真で受賞報告をする藤森さん。



核兵器のない世界の実現を

藤森俊希さん ノーベル平和賞授賞式報告

1月5日、日本原水爆被害者団体協議会事務局次長の藤森俊希さん(湖東)が市役所を訪れ、ノーベル平和賞の授賞式に出席してきたことを報告しました。2017年のノーベル平和賞は非政府組織の連合体「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)」。広島で1歳の時に被爆した藤森さんは広島被爆者の代表として12月10日の授賞式に出席しました。市長への報告の中で藤森さんは「核兵器禁止条約は実効あるものになっていません。ICANでは2018年に効力あるものにしたいと思います。」と語りました。